



木 2
4307

高蘭山先生著

音訓國字格

我朝の初めは假字、女文字とも云て半七字と云れ世の中に合せんと
 した、然る漢字、それ、あまの書り、これに國字にいおせ、元來譯を
 あれ字、かゝり、尚らざること多し、よきも、初め、あつた、ひ、差、別、の、あ
 り、然る漢字、其、唐書、これと、まて、文字、に、引、附、て、た、る、に、知、り、知、り、む

音訓國字格序

流書影
 繪
 下

有_レ言_レ法_レ而_レ後_レ有_レ字_二有_レ字_一而_レ後_レ有_レ字_一、
 音_レ訓_一、音_レ訓_一又_レ法_レ也、要_レ同_レ席_一而
 可_レ通_レ者、言_レ也、陽_レ國_一而_レ可_レ達_レ者、字_一也、
 往_レ言_レ素_一、結_レ繩_一鳥_レ詒_一之_レ朴_一、文_レ質_一彬
 彬_一系_レ極_一、楷_レ單_一之_レ流_一、言_レ童_一、殊_レ庭_一字、
 變化_レ流行_一萬_レ邦_一、猶_一一_レ日_一矣、共_一。

音訓
 音訓
 音訓

日本時昔必有字。而絕不傳。欲論
以無由。唯空海師之伊呂波言備
公之片假字。傳千歲。謂之國字。用
合四十七音。為信萬訓。五音五十二
有無量。用。其邦孩提之童。能知國
字。然因不知法則。謬音訓。於是字
言。法與音訓。起。其澆則也。

者。今所呼之。法與所書音訓等
一之規矩也。不倭以人事之間。筆
音訓。國字之格。亦吾童子未掃盡
机。書房。星。運。事。自以頻。上。干木
根。事。出。早。卒。有。疎。漏。為。不。得。止。候
明。者。校。心。云。寬。政。己。未。春。分。日。高。井
伴。寬。叙。



應姪伴寬需西湖元景書干
龍鱗菴



音訓國字格

上卷目

- 大意 ○日本之文字
- 音訓 ○日本國字伊呂波
- 片假字伊呂波 ○日本古體伊呂波
- 唐土伊呂波 ○天竺伊呂波
- 朝鮮伊呂波 ○和蘭伊呂波
- 縱橫相通五音五十字 ○五音分配
- 象音翻譯 ○漢音吳音
- 四聲七音清濁 ○日本之四聲並發字
- 反切 ○日本國字反切



○唐音

○華音

下卷目

○國字音格

○國字訓格

音訓國字格

乾

武江 高井伴寬思明述

大意

伊呂波四十七字ハ吾國ニ製作スル所ニシテ筆意簡易ナ
 バ山家村居ノ賤夫鄙婦モ會得速ニシテ日用ノ便利アリ故古
 昔ハ幼兒ノ新ニ筆學ニ入者ハ先三十一文字ノ淺香山ノ歌ト
 難波津ノ歌トヲ手本ニ授與セシライツカ伊呂波ヲ以テ手本ノ
 初トスルニ成レリ四十七字ハ人言ノ音ニシテ伊呂波ヲ以テ訓スレバ
 宇宙ニ洩脱モノナシ伊呂波ヲ連續シテ音ヲナシ訓ヲナスヲ假字遣
 ト云兒女輩只伊呂波ノ簡易ナルヲ知テ法アルヲ知ズ片假字縱
 横ノ五十音ニ微妙ノ義アルヲ悟ス安ニ國字ヲ書シテ訓ヲ違ヒ



容易字ノ國字ヲ點ジテ音ヲ變シ是其法ヲ了解セサル故也假
 字遣ノ法ハ吾國ノ故實也トテ往古和歌ノ家ナトハ秘密トセラレ
 タル也黃門定家卿其式ヲ定ラレ其後昇平愈日久シ諸書ノ
 刊刻盛ナルガ中ニ假字遣ノ書モ數多行ルル自他其梗槩ヲ知
 左有氏訓ノ假字遣ニ巨細ヲ盡シテ音ノ假字遣疎畧也今音
 ノ假字韻ニ因テ別アル旨ヲ記シテ兒童ノ疑惑ナカラシラ欲シ
 訓ノ假字ノ法ヲ述音訓國字格ト題ス假字モ元來字ヨリ出タ
 ル文字ノ義理明ナラスバ假字遣ニ廣大ノ意アルハ知ヘカラス
 故ニ先音訓四聲切韻等ノ義ヲ贅ス

日本之文字

支那ノ往古ニ六書八體アリ今專楷書ヲ用篆草兼行印

度ニ梵字悉曇曇紅毛ノ小邦ト云レ其國字アリ吾日本何ゾ字
 無ラ惜哉 神代逸ニ遠其文字傳ラズ 天武帝命シテ新字
 一部四十四卷ヲ撰シ玉ヲト云レ其以前多ク漢字ヲ通用スル故
 是モ今ニ傳ズ今世倭字ト云モノ一二有ハ其カ存也ト云全信ニ難
 シ後世好事ノ作セルヤ殆辨スカラス所謂メ 句 句 句 句
 一スル 込 コム 扱 サテ 凧 ラシ 忤 ナシ 仮 カリ 辻 ツギ 狎 シ 杣 ノ 沖 トテ
 笔 ムシ 柵 ト 怵 コラ 峠 トラ 畑 タ 迄 テ 畠 ケ 倂 カケ 赫 モ 間 ツカ
 禁 フモ 筵 リ 躬 セガ 拈 ナダ 愁 ジヒ 嵐 ラロ 渠 カレ 適 シ 働 シ 椽 ハシ
 魚 エソ 遠 ズガ 總 シラ 眩 シカ 糲 カガ 鳩 シホ 神 サカ 鮠 シク 嘸 ヲサ 檉 カタ
 錠 仰 ヲ 誑 ヤシ 躡 シラ 鳴 シキ 磨 シロ 鮒 アサ 鮫 シキ 鯨 サハ 鯨 フク
 鳶 アタ 鱈 ボラ 鰯 シハ 鱧 ヤリ 鵜 タヒ 鰐 テガ 此類ノ字少カラズ漢土

ノ字書説文ヨリ已下康熙字典ニ至迄見ザル所句遠仮アル義
甚異ナリ其字形漢字ニ交ハ米中ノ救交也ト野正キ文ニ取
スサバ空海師伊呂波ヲ造吉備公片假字ヲ製シ吾邦ノ貴賤
漢字ニ並べ用ル千載ノ今ニ至ル實ニ吾 本朝制衣作ノ文字今
ニ見キハ伊呂波ノ殊庭ノ書ニモ吾伊呂波ノ假字ヲ草ニ書シ毎
字ニ漢字ヲ以音ヲ注セルヲ見タリ是ヲ以其舊ヲ知ベシ儒士アリ
歎息シテ曰漢土ハ文國ナハ匹夫匹婦モ字ヲ知 日本ハ文盲ノ國
ユハ假字ヲ用若吾邦假字無リセ上下悉漢字ヲ暗記ベキ伊
呂波有テ下民ヲ愚ニス宜也 日本ニ聖人出サルト愚云不然天
地ノ化育一カニ私セス入ハ萬物ノ至靈ナレ其質賢愚アル萬
邦異ルコナレ千古ノ大聖堯帝ノ子ハ如何ナル質ソヤ禹王ノ父ハ如

何ナル人ゾヤ漢土ニモ不オアリ 日本ニモ君子アリ文武周孔ノ大
聖ナル道ニ達スルニコソアレ字ヲ知多故ニ非ズ漢土ニモ道有テ餘
國ニ道ナキニ非ズ夫國アル人アリ人アル主アリ主ハ道ヲ以下ヲ治臣
道ヲ以上ニ事フ何レノ國ニモ其國ノ道アラザルナシ貴モ賤モ
道ヲ知ノ多ハ賢人君子多ク唐堯虞舜無爲ノ治アル仁徳
清和仁惠ノ政アリ吾國聖人ナシト云カラス聖ノ名ハ異國ニ唱
ル所ニテ吾國ノ稱呼ニ非ハ其人有テモ聖人ノ名ハナキ各國ノ
風土ニシテ音ヲ用訓ヲ用ル差別アリ吾國ハ訓ヲ以用ヲナセバ伊
呂波假名ノ簡易ナル兒女愚民ニ益アル少カラス漢土ハ音ヲ以
用ヲナス訓ヲ用ル字少ク言多シ音ヲ用ルハ言少ク字多ク被邦
ニ博識秀オアル吾國達學能書アリ 日本ニ無學無筆ノ

者モアリ漢土三字不通ノ人モ有レ和漢異ナルコトナレ一字不通ノ用ヲナスニ至テハ訓ヲ用テ言多キハ音ヲ用テ字多キニ増ヘシ

音訓

天地ノ音ハテンチ訓ハアツチ日月ノ音ハジツケツ訓ハツキヒ山川ノ音ハサセン訓ハヤカハ父母ノ音ハフボ訓ハチハ男女ノ音ハナンヨ訓ハオトコヲチ音ハ漢土字音訓ハ吾國ノ倭訓也漢土六音ヲ用 本朝六訓ヲ用ルニ假字ハ今漢人ニ對シテ齒幾ゾヤト訊問ニ問君春秋多少トイハ其歲數ヲ以答シ問君春秋多少トイハ其意ヲ解ベカラル如シ音訓ノ通用各其土ノ自然ニシテ而モ義ニ於テ違フナシ

日本唐天竺朝鮮和蘭伊呂波

和蘭ノ文字障有テ削之

其國ニ仍テ字々音訓異ナリト云凡用ヲ達シ事ヲ便スル趣ハ一也今殊庭ノ文字吾國ノ假名ニ應ズル音ヲ纂テ吾ガ伊呂波ノ下ニ列ヌ○日本ノ假字ハ漢字ヲ草ニ書シタル筆勢ヲ畧セシモノ也和歌ノ家ニハメシノ片假字傳ト云フ有ト聞ハ漢字ヲ行ニ書タル畫ヲ省キタルモノ其正字多ハ萬葉ノ假字ニ同シ字ノ省略

へ	は	に	は	ろ	い	イ	以	位	△
邊	保	仁	半	呂	伊	位	以	位	△
波	波	奈	波	裊	以	以	以	以	△
怕	通	兒	波	路	位	位	位	位	△
刈	左	二	刈	上	△				

黑白二分知シム 萬葉假名ハ漢字ノ吳音ヲ下畧シテ呼如クニテ津江女ナト訓也他字ト同シク吳音ニ呼バ津江女タリ今漢字ノ音伊呂波ニ似ルモノヲ第四段ニ列シ強テ唐土ノ伊呂波ト名ス漢音ニナキ音ハ吳音ヲ以填ル故國中ニ字ヲ書シテ是ヲ分チ音ヲ注ス 日本古體ノ假字ト云アリ按ズルニ天竺ノ梵字ノ義理ヲ踏襲シテ杜撰セ

わ	を	る	ぬ	り	ち	と
和	乎	流	奴	利	智	止
和	遠	阜	孛	良	大	衮
和	鳴	縷	怒	利	智	士
瓦	子	下	下	下	下	下
釘	釘	ル	ル	凶	凶	正

ルモノト見タリ 日本ノ號ハ第三段ニ列ス 天竺ノ梵字伊呂波叶モノアリ第五段ニ列ス蓋梵字ハ筆意ヲ學サレハ書カタシ唯象形ヲ摸スルミ此国也 日本及唐土ト同ク坤輿亞細亞ノ帶ニ在テ頗大國也文字ヲ連テ合セテ自在ノ音ヲナス假令ハ國ト云字ナバコノ字クノ字ヲ合セタル體ヲ一字トス加シ萬

ね	つ	ろ	れ	た	よ	か
子	鬪	曾	礼	多	與	加
奎	奎	衮	皇	太	裳	加
孺	都	祖	雷	多	與	加
以	子	下	下	下	下	瓦
FI	ス	下	神	下	金	下

邦夫々ノ國字有ガ中ニ此國
 悉曇ノ法アリ阿字ヲ數万ノ
 字母ト定メ擴ハ音韻疊量
 ノ理ヲ盡シ縮レハ都テ阿字ニ
 歸ス是ヲ漢土ノ文字吾國
 ノ假字ニ當ニ總テ其規矩
 ヲ出ズ故ニ和漢コレヲ用テ音
 韻ヲ正ス意味深長ナル如
 兒輩窺ベキ非ハ閣之末
 ノ堅横五十音ヲ秋元所ニ
 於テ其義一二ヲ見ベシ皆

ナ	ラ	ム	ウ	ウ	の	ハ
奈	良	牟	宇	困	乃	於
奈	良	牟	宇	央	奈	製
那	羅	無	宇	爲	汗	汗
ナ	了	了	了	了	了	了
ナ	了	了	了	了	了	了

悉曇ニ本イテ説ヲ爲モ之
 朝鮮ニ吾伊呂波ノ如キ國
 字アリト書ニ因テ採之第
 六段ニ列ス愚心其可ナラ
 セス按ズル周ノ武王殷ヲ亡
 箕子ガ囚ヲ免シ朝鮮ニ封シ
 テ臣トセセ日ハ書ノ文ニ似
 然タリ爾來箕其國世々漢土
 ノ冊封ヲ受テ冠服儀禮唐
 土ニ等ク文字モ時ト俱ニ唐
 土ノ變化ニ從テ用來ルナレ

ク	ヤ	マ	ケ	フ	コ	江
久	也	末	箇	不	已	江
架	也	末	架	準	袞	江
矩	也	磨	氣	付	固	衛
了	了	了	了	了	了	了
了	了	了	了	了	了	了

音川上

尾運堂

字ヲ呼ブ音ノ大ニ同ク少キ
 異ナル者アリ是ニ由テコレヲ
 觀レハ國俗用ル所ノ彼邦製
 作ノ字果シテ無ルカラズ況ヤ
 彼國ノ諺文ト云モノアリ字
 體異ナリ吾 日本寶曆甲
 申ノ春韓使來朝アリ美濃
 州今須ノ驛ヲ過ルニ遇テ留
 姓勝山今須ノ驛ノナル者其國ノ
 正使書記龍淵名大中ニ問
 夕毛旅中事敏ユ其詳ト

て	天	空	爹	子
わ	阿	安	阿	次
さ	茶	左	左	又
き	喜	賀	喜	亦
ゆ	勇	平	俞	亦
め	女	奎	罵	亦
み	美	夷	美	亦

ルヲ得スト云 (和蘭ハ歐
 羅巴ノ境界ニアル小邦也然ルニ
 其國俗機智精巧ナル大國
 モ及ス諸人知所之其國字
 ヲ稱シテアセト云 伊呂波ノ
 三字ヲ呼テ假字ノ總名トスル
 加レ字ニ十六アリ左ヨリ右ヘ
 並書ユヘ横文字ノ國トモ云
 其字ヲ一字ニ字ニ字連合シ音
 ヲナレ用ヲ便スルヲ天竺ノ悉曇タニニ似タリ吾邦伊呂波ニ似タル音ヲ第七
 改列ス蓋國土ニ仍テ人言モ自然ニ異ナリ 日本ニムト呼音ヲ彼人

し	之	友	之	也	今
ゑ	惠	聖	會	又	叫
ひ	比	波	比	也	去
も	毛	裘	模	亦	母
せ	世	左	稅	又	伺
す	須	左	芻	又	戶

ノ言ハミユト呼テムト云音ナシ伊呂波ノ音ニ有ト無トマツテ餘モ此類
 多シ唯其近キ音ヲ取ルル凡人言ノ開合ハ萬邦同キ其土
 ノ自然ニシテ吾日本ノ内ニシテモ西国北国ノ言語ヲ以京師東都
 ニ比レハ違アリ況ヤ萬里ノ殊域ヲヤ斯殊方ノ字音ヲ列ミ人ノ
 ロニ出ル音各地ノ自然少キ差異アレモ大同ト云ヘシバ吾國伊呂
 波ヲ造人ノ音ヲ四十七字ニ盡スフ旨アルヲ知シ

縱橫相通五音五十字

ア一字ヲ音母ト	一	二	三	四	五		
ス凡人ノ口ヲ開テ	一	二	三	四	五		
音ヲ發スル始必	ア	イ	ウ	エ	ヲ	喉	開淺
アノ音ノ夫ヨリ少	カ	キ	ク	ケ	コ	牙	

フイウ
 行ハヒ
 フホ
 ニ通

ク辰月ヲ撮ミ齒先	サ	シ	ス	セ	ソ	齒	
ハ聲ヲ出セハイト	タ	チ	ツ	テ	ト	舌	
成又辰リヲ合スバ	ナ	ニ	ヌ	子	ノ	舌齒	
ウト成故ニアヨリ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	唇	輕
ウヲ生ズルマシ	マ	ミ	ム	メ	モ	唇	重
音舌ニ觸テ喉ス	ヤ	井	ユ	エ	ヨ	喉	開淺合深
バエト成ウク音	ラ	リ	ル	レ	ロ	舌	齒
ヲ喉スバク成	ワ	イ	ウ	エ	オ	喉	合深
人故ニイヨリエラ生	ハ	ム	ヤ	ト			開淺合深
レウヨリヲ生ズ	ア	イ	ウ	エ	ヲ	ヨ	リ
十行氏ニ皆同ジ而モ十行	ア	イ	ウ	エ	ヲ	ヨ	リ

行ハヒ

屋邊堂

フニ納ルアアカサアタアアイイギイイチイウウクウスウツク又ウ音ノ
 末ニ其生シタル母ノ韻ヲ含ムバ之伊呂波ノ四十七字ニ比スバイウエノ三
 字同字アリ是深キ故アリ假字遣ノ條ニ記ス又イ井ヲオエエノ同
 音別字、輕重同カスルヲ分ツ都テ假字遣ノ深義喉音ニアリ
 然ル故アワヤノ三行始中終ニ有テ開合淺深ノ別アリ又音ニ輕重
 リタトハイヲエ六輕ク井オエ六重シ尚末ニオタシ又音ニ開合アリ
 カサタナノ如ク口ヲ開テ呼テ開トシテ口ソトノノ如ク口ヲ合セ呼音
 ラ合トス開ハ外へ呼聲合ハカニテ内ニ入聲ト知レシテ言語聞取カ
 タキヲ開合ノハカ又トハ云之九音五十文縱横ニ相通シテ互ニ用ヲ相爲
 一微妙無限ノ理ヲ備フ其働段々次ニ述ルモ也抑印度ノ梵字ノ象
 形ニ縱横相通ノ意ヲ具スルヲ以其ヲ摸レ何者好事カ九口伊呂波

有
 有
 有

故體ノ字上云ヲ制表シタル乃前ノ四十七文字ニ段ニ出セル今梵字
 ノ縱横ニ列シ見ルニアイウエヲトヨム縱ノ行アリ生ル故ニイウエヲ
 四字ニア字ノ體ヲモ子カキクケコ皆カ字ノ體ヲ具ス餘ノ縱行同
 之アカサタナト横ニヨムモアヨリ生ル九字皆ア字ヲ兼イキシテ皆
 イヨリ生ズバイ字ノ形ヲ具フ餘ノ横行同之縱横總テ所生ノ母字
 ノ形象ヲ備ル也天竺ノ悉曇ノ法音韻密ナルニ非ズ梵字又直ニ其
 音ヲ形象ニ備フ字ヲ連合シテ數方ノ體ヲ成レコレヲ約ハ所一文字ニ
 歸ス是ヲ外域ニ按スルニ和蘭ノアベセ音韻ヲ字象ニ具ス如ク梵字
 ノ旨ニ近シ和蘭ニハ
 ノ如キ體有テ真
 行草異ナルニ類ヲ前ノ四十七文字ニ出セルハ草ノ如キモ之思切ヨリ
 經傳ニ志ヲ勵シ餘カヲ得テ專天學ヲ勉レ凡蘭學ニ疎ナク蘭

字ヲ書シ得ズ強テ其象ヲ寫シ之天竺ニ梵字ニ外ノ體アルヲ
 聞ズ今梵字ヲ縱橫ニ布列シ五十文相通ノ理字象ニ具スルヲ知シ
 メ且吾國字ノ古體ト充モラテ并記シ因ニ朝鮮ノ國字ニ及テ愚
 梵字ニ於テ其旨アルヲ信ズ 日本假字ノ一體ナルモノト朝鮮ノ國字
 ナルモノハ愚信ゼザル所也次ニ出ス圖ヲ以見バ梵字堅橫ニ通シ字象
 ニ肖アルト理ヲ此ニ摸セルモノト叙來自明ラシ紅夷ノ字々畧之

ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ

ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ
ㄷ	ㄴ	ㄷ	ㄹ
ㅋ	ㆁ	ㆁ	ㆁ

五音分配

五音ヲ以五行ニ配スハ唇音ヨリ出ルモノヲ水ニ屬シ舌ヨリ出ルモノ
 ヲ火ニ屬シ牙ヨリ出ルモノヲ木ニ屬シ齒ヨリ出ルモノヲ金ニ屬シ喉
 ヲ金ニ屬シ舌ヨリ出ルモノヲ水ニ屬シ舌ヨリ出ルモノヲ火ニ屬シ
 ヲ火ニ屬シ牙ヨリ出ルモノヲ木ニ屬シ齒ヨリ出ルモノヲ金ニ屬シ
 ヲ金ニ屬シ舌ヨリ出ルモノヲ水ニ屬シ舌ヨリ出ルモノヲ火ニ屬シ
 以言商角徵羽ニ配スルハ人ノ聲字ノ音ノ調子ヲ定テ絲竹ニ八音ヲ
 數正ニ爲ス此外四方中央四氣土王ニ配當スルモノ皆類ヲ推シ

理ヲ述ル也

象正翻譯

凡ソ乾坤ノ間ニ生ズル人其土地ノ氣ヲ受ルガ故ニ各國各地五音少ク違サレテ其邦ノ帝都王畿ヲ中央トシテコニ生ズル人ノ言語正シク中土ヲ四方ニ去テ言語マ、差ヒ去テ遠ケバ彌違フ萬國皆然日本帝都ヲ去テ東奧北越西邊筑紫ノ果ニ至ル言語其違ヒ蝦夷ニ至テ言語不通漢土中夏ノ五音ト并蠻吳越ト異ナリ弥異ニシテ侏離馱舌ノ不通ニ至ル其他韃靼印度ノ諸國モ皆如斯然在萬邦一天地ニバ象音ヲ以言語ヲ通シ翻譯シテ文字ヲ通セバ解スガラサル者ナキ

漢音吳音

日本へ殊庭ノ音ヲ傳ハ漢吳二音也漢音ハ支那ノ中國ノ音吳音ハ吳國ノ音也二音總テ漢土ノ音ナレバ吳ハ殊庭ニシテハ中國ナラズ元并蠻ト呼テ邊鄙一方ノエビス之其音中夏ノ音ニ異ナリ是亦吾國華洛ノ言ト奥州ノ言ト自ラ違ル如シ日本へ吳音ヲ傳ル説ニ吾國ノ女僧對馬州ニ來其國音ヲ以維摩經ヲ讀タラ始テ佛書ハ吳音儒書漢音ニ讀ト云愚按ズルニ吾邦平常ノ言語スベテ吳音ヲ用格書法令ノ文ヨリ日用ノ書通ニテ讀テ渾混吳音也四書五經ノ素讀モ究テ漢音カリニ讀トスレバ必吳音ニ出ルヲ以思フニ吳ニ近キ日本ノ水土自然ニシテ吳音ノ應ズルトスベシ漢音吳音元ヨリ義ニ於テ違ナキ

四聲七音清濁

漢土ハ音ヲ用ル故四聲ノ多アリ 日本訓ヲ用テ四聲ノ用ナ
 シ異朝トテモ文武周孔時ニ四聲上云ナシ梁ノ沈約始テ四聲
 ラ分説ス梁ノ武帝問如何ナカ是四聲ゾ沈約言ニ應ジテ云天
 子即主哲是ヨリ平上去入ノ名有テ上去入三聲ハ仄字也字彙
 ニ曰調音貴得其平故初發聲爲平聲并上爲上過去爲
 去四聲盡則入矣元和韻譜曰平聲者哀而安上聲者厲
 而舉去聲者清而遠入聲者直而促康熙字典曰平聲平
 道莫低昂上聲高呼猛烈強去聲分明哀遠道入聲短促
 急收藏コレ四聲ノ説也其後西域ノ梵僧七音ノ説ヲ漢土
 ニ傳テ音韻ノ學大ニ備リ反切ノ諸例是ニ起其巨細ハ切韻ノ
 書ニ盡タリ七音トハ入ノ口ヨリ發ス音アイウエヲワ井ウエオ。

ヤイユエヨハ喉ヨリ出タチツテトナニヌ子ノラリルレロハ舌ヨリ出
 カキクケコハ牙ヨリ出サシセソハ齒ヨリ出ハヒフヘホハ唇ヨリ出テ
 輕ク一ミムメモハ唇ヨリ出テ重シ唇舌牙齒喉ノ音ヲ五音ト云
 此内ナニヌ子ノ齒ヨリ出テ舌ラハ故半齒半舌トシラリルレロ
 半舌ヨリ齒ニヒクユヘ半舌半齒トス以上ヲ七音トス之然シテ
 字ノ韻或ハ引或ハ跳者モ呼出ス五音ニ從テ譬ハ天ノ字テラ
 音トシテラ韻トス舌音ノテヨリ呼出ス天ノ字ハ古ニ屬ス聖
 ノ字ナラバセテ音トシテラ韻トス齒音ノセヨリ呼出ス故聖ノ
 字ハ齒音トスル如シ外皆然之又字々自然ノ清濁アリ其中ニメ
 聖教如ク漢音吳音俱ニ清アリ勤行ノ如ク漢音清テ吳音濁
 アリ文武ノ如ク漢音濁テ吳音清アリ牛ノ字外ノ字ノ如ク漢音

吳音俱濁アリ是ヲ韻書ニ考ルニ字ノ清濁ハ吳音正ニ似タリ
又按スニ古音ノナニ又子ノ吳音ニ有テ漢音ニナシ漢音ニハダ
ヂドテノ音ニ協フ南難尼你而爾奴怒年念ノト云音ハ吳
音漢音俱ニナシ唇音ノ一ミムメモ吳音ニ有テ漢音ニナシ漢
音ニハヒフホニ叶フ滿萬民愍武無匪綿門目是等ノ字ヲ
以知ラル其他如斯毎字ニ一音ヲ併校シ漢吳二音ノ變通自
在ニ知ル也但漢音ヲ正トシ吳音ヲ以不正トス凡前ニモ述如クニ
吾國自然吳音ノ應スル故強テ漢音ハカリニ讀ベカラサル者ア
リ今儒書ヲ讀ニ門明命氏孟ノ類吳音ヲ避テ入徳之門
明德天命諸氏孟子曰ト讀ハ漢音モ耳ニ立ベシ經書ノ中ニ
如此キ 枚舉スヘカラス少ク字ヲ識者スラ圖ラズ且音讀過

スナバ初學ノ兒輩儒書ヲ吳音ニ讀テ其吳音クルヲ知サルモ
宜ナリ固ク漢音ノミニ讀ベキ者ナラバ儒書ノ標題モ易經詩
經禮記五經論語ト稱シテ文選韓詩外傳ト稱ベカラズ何ノ
故ニ漢音ニ讀儒書ノ名ヲ吳音ニ唱ルヤ況ヤ詩文天文曆算
數等ノ書ヲ讀ハ吳音半ニ居スラヤ吾門ニ深ク吳音ヲ禁セ
ズ字義ノ永カラサルヲ禁ス

日本之四聲並發字

日本訓ヲ以スバ四聲ニ用ナシト云凡凡人ノ口ニ出ル音ハ萬
國大同シケバ漢土ノ四聲ヲ例セシ吾邦又四聲アリ自他
平常ノ說話悉心四聲ナレ夫ニ用ナケバ知サルノミ漢土ニ常
ニ音ヲ用ルユヘ似タル音モ四聲ニテ夫々ニ分ル今日本ノ訓ヲ平

上去三分テ彼邦ノ四聲ニ擬スル者左ノ如シ入聲ノ如キハフウクチ
 キニ平字ナシト云例ニ等ク紛^{ヒト}ベギニ非ズ橋^平端^上箸^去直^平
 寢^上根^去垣^平柳^上蠟^去日^平樋^上火^去血^平智^上地^去是等ヲ
 以其餘^ヨ准^ビジ知ラル、也異域ニテハ書ヲ讀モ音ヲ以直讀シ
 日本訓ヲ以字ヲ反讀ガ如クハナレ故ニ書ヲ讀デ義ノ紛^{ヒト}ベギ字ニ
 或ハ音註^ヲ或ハ反切^ヲ或ハ發字^ヲノ圈ヲ點ズルコトアリ發字トハ論ハ
 長ノ字ハチヤウノ音ナレ義ハナガシナガサタケオサナド、訓ズル
 其義ニ因テ四聲異九之元來平字ナレバ平ヲ本音トシテナガ
 シト訓ス仲良切 音場生長ノ長ハヒト、ナルト訓シハ酉長ナドノヲサト訓ズ
 ハ上聲^{モウ}之^展音^兩掌^切モノ、長サタケ又ハ多キ義ニテマサルト訓スハ去聲^{キヨ}
 也直亮切 音仗上去ニ聲ハ本音ニアサル故發音タリ多義トル字ハ

紛易キユハ酉長生長長幾如此圈ヲ點ズ今此例ニ仍テ
 日本ノ四聲ニ訓ノ歟發字ヲ點ズバ日影 掛樋 火箸日
 訓^ヨ呼^ハ平^ニナレ日影^トツケ呼^ケ訓^ハ上聲^ト樋^ノ訓^上聲^ナレ掛^カ
 樋^ト續^ク訓^ハ去聲^ト是^ニ准^ジ殊域^ノ四聲^ノ分^ル義理^ヲ考^フ
 見^バ其^呼法^ノ如^モ思^半過^ニ吾邦四聲ノ證字本居子ノ三音考ニ書スル最好シ愚亦取テコニ記スト云
 反切
 印度ニ悉曇^{シツタン}アリ支那ニ切韻^{キョウイン}アリ文字ノ反切是之タトハ仁ハ
 如鄰^ニ切^ル如^ラ父^ノ字^トレ鄰^ヲ母^ノ字^トレ清濁^ハ父^ノ字^ニ從^ヒ四聲^ト
 ハ母^ノ字^ニ從^フ加^ノ字^濁ユヘ仁ノ字濁鄰ノ字平ナルユヘ仁モ平字之
 韻鏡^ヲ以^テ字^ヲ反切^スルニ父^ノ字^ヲ縱^ニ引^ク母^ノ字^ヲ橫^ニ引^ク行^合ル^ル衝^ク
 ニ在^モラ^ズ字^子トスル例ノ每字反切ヲ以スバ四聲清濁ニ誤ナク

字ヲ呼ノ正ヲ得ガニ切韻ノ法其根糸心曇ニ出テ今ニ至テ音韻
ヲ正ノ規矩トス狀光ニ吾國近世韻鏡ニ仍テ人ノ名字實名ヲ
反切スルアリ其法其人ノ五性ト字ノ生剋トヲ以吉凶ヲ定ム字
ノ性ハ所謂辰水吉火牙木齒金喉土也壁京木性ノ人ニ辰月ヨリ
出ル音ノ字ハ水ニ屬シ水生木ニシテ吉火性ノ人ニ齒ヨリ出ル音ハ
火剋金ナルユ凶トスル如シ而モ歸納ニ美字ヲ需シテ欲ス此事
何ク比ヨリ權輿ニヤ殊域ニ人ノ名字ヲ反切スルナシ反切ノ法
ハ字ノ音韻ヲ正ス爲ニコソアレ是ヲ以名字ヲ求メ吉凶ヲ唱ル何
ノ謂ゾヤ殊ニ生剋互ニ行レテコソ用ヲ相爲セホモ金ヲ以剋セズバ
材ニ成ヘカラス金モ火ニ剋スバコソ其質ヲ成ス木ヲ水ニ投ズバ腐
朽シ火ニ投ズバ灰滅ス水生木木生火ニシテ却テ傷ク聖人生

剋ヲ語ルハ五行ノ理ヲ述ルノ何ゾ字ノ士凶ヲコニ取ニ然ル者
乘ヲ反切ト高貴紳緝專ヲ用ルニ愚心等何少深ク教賢辨セン
日本國字反切

切音ノ法ヲ摸シテ 日本ノ國字ヲ反切スルヲ假字反ト云願自在
ノ妙アリ先前ニ圖スル縱橫五十字ノ所位ヲ能暗認ニスレ而シ
テ假字ヲ反ニキヨシヨリヨトトツタテ呼ラ抑音ト云抑音ヲ字
ニ約ト思ハシヨハシラ父字トシ縱ニ引ヨラ母字トシテ橫ニ引行
合如ニルソヲ以字子トスシヨ反ソク又アウ切ハ父字母字同
縱行ニアリ如此ハ母字橫行ヘキルナク其處ニ居テ父字ノアヲ下
へ母字ノ位ヘ引テ直ニウヲ取アウノ反ウク又ウアノ切トスバ上へ
母字ノルルニ行テアヲ取ウアノ反アノ父字バカリヲ上下ヘ引イウモ

母字ハ其処ニ居ルハ父母縦ノ行ニ凡例外做之又キリ反ハ父字
 母字同ク横行ニテリ如斯ハ父字縦ニ行キルナク其処ニ居テ母字
 ノミラ右ハ父字ノ処ヘ引テ直ニキヲ取キミ反キルニキリ反ハ左ヘ
 父字ノアル処ヘ行テミヲ取ミキ切之ニ母字カクヲ左右引毎父
 字ハ其処ニ居ルハ父母横行ニ並凡例他做之總テ字子ハ母横
 位ニ從ト知レシ又清濁ハ父字ニ從ト開合ハ母字ニ從ト知レシヨ反
 之バゾト濁テ母字ノヨト同クロヲ合モ呼音之如此レテ音ヲ反切充
 ニ叶ガレナシ吾妻ニアルト云ラ約レテ吾妻ナルト云ハニ反ナク松
 モ昔ノ友ナラナクニハ友ニアラナクニト云ラ約スルハ小忌夜イリ切之
 ニ約レテラハ衣横ハヨリ反ヨニ約レテヨリ如此ナク邊鄙ニ何
 トイフヲ何テウト云モトイハ切ナバ不當ノ言氏云ガタレ又假

反ヲ以和訓ヲ知フモ自在之和訓ヨリト訓シ月ヲキト訓シ人ヲ
 シトト訓スルハ何ノ謂ゾト知フハ吾ガ知ハニ大村姓蜂住ト云者アリ
 元禪學子ニ心ヲ寄ケガ類ニ倭學子ヲ嗜テ彼ヲ捨テ是ヲ勤ム兼テ
 萬葉ノ歌學ヲ好ミ日本假字反ヲ弄フ數年ニシテ頗其旨
 得多數風流ノ席ニ請レ歌書ヲ講説シ自教號シテ鈍通先
 生ト稱ス始テ吾茅屋ニ訊來ル時愚抑節白石先生韓容ト
 武ノ金城ニシテ筆談ノ書ヲ寫シ畢テ兩三輩ト其美才尤
 ラ論シ卒爾ニ其冊ノ尾ニ律ヲ賦シテ曰

箕國文旆翮海東使星遙動彩雲中
 千秋獻壽太平日萬歲講和詞客功
 金殿陽春新發曲梁園白雪漫英雄

當時筆舌懸河辨 堪見本邦君子風

吾門ノ兩三子等シク絶ヲ賦シテ英雄ヲ感ジ彼蜂住ニ對シテ

公歌學ノ暇詩文ヲ好コテ知乞一首ヲ賦シテ巴調ヲ和セヨ彼忽

筆ヲ採テ書シテ云

寸女加美乃美乃利古知左江和加崇久仁

崇登之留良女也登於津加良宇太

是ヨリ談話シテ和漢ノ書籍ニ及ビ日本書紀舊事故事ヲ始

吾朝ノ故記ヲ以其學ルヲ叩ニ其說不誣神代卷等ハ多假

字反ヲ以義ヲ解スル速ノ愚大ニ其說ヲ信ズ彼又愚ニ問ニ經書

ノ音義唐音ノ旨ヲ以ノ愚ガ說ヲ悅ブ而モ約スルニ學ルヲ互

換シテ各自ノ不足ヲ補フヲ以ス然レ惜ベシ俄ニ黃泉ノ客ト成

テ約ラズ庶ス彼不幸ニシテ世ニ知ラズ著述ノ書アレ休訓假

字反ノ書ニ刊布スル者ナシ假字切手ヲ絲日本助語考解ノ

二書稿ヲ見タリシ頗勤タリ恨ラクハ鐫刻ニ及ズテコニ和訓假

字切ヲ少ク記サント欲レ氏彼書ヲ刊板シテ其遺志ヲ嗣人トシ

ト彼ニ讓テ閣之又假字反ヲ以漢字ノ音ヲ反切モ自在ナレ直

ニ其音ヲ得ト一反ニ反レテ得ト有テ事繁シタ上ハ音ノ讀カタ

キ字ニ遇時熾徒々切ナバ音トウナルゾト知ル然ニ選丑凶切ナ

レハ音チウト讀ニ音ハチヨウ之如此ノ謬誤アリ世俗ニ百性讀ト

云モノニ同レ其直ニ得ト一反ニ反スル別一二ヲ記サバ東德紅切ノ

如キハ直ニ音韻ヲ以知ラル音韻ハ徳字ト音トシテ讀ト父

字ノ音ト母字ノ韻トヲ合セトウノ音ト九他倣之實必鄰切ハ

字ノ音ト母字ノ韻トヲ合セトウノ音ト九他倣之實必鄰切ハ

博拔切ノ類直ニ音ヲ知ルキウキウカク宮居キョウキウカク弓切モ抑音ナ尺直ニキウノ音ノ
 抑音ト前ニモ云如クキョウキョウシヨシヨウクククシキヤウリヤウシヤ
 シヤウノ類ヲ云比房脂切ハウシハシノ反ヒノ音ノトウタド棘多動切ハ
 タトノ反トニテトウノ音ノ母字ニ韻アルモハ都テ春昌唇切ハウシハ
 反ユニテシユノ音ノ字子ニモ其韻アリ葛尺良切セキノ反シニテシヤウノ音ノ
 天他前切ハウシハウセノ反テニテテノ音ノケキョウ乾渠焉切キョウ反ケ
 ニテケンノ音ノ是等一反シテ得ル者ノ麻莫霞切ハクノ反バ
 又アカノ反バノ音ノダダ加切ハクノ反バノ音ノチヨ反ド又ドカ反ダノ音ノ蔓
 母官切ハクノ反バノ音ノボク反カ又ボカ反バニテバノ音ノ是等二反シテ得ル者ノ
 如是反切スバ其音ニ叶ナルト云凡甚駁サカ金スルニ似テ識者ハ吟シ

唐音

唐音ハ唐土ニ呼ルノ字音ノ漢音吳音俱ニ唐土ノ音ニシテ別
 ニ唐音ノ名アルハ殊庭字音ヲシテ變ヘンシタル中古以來ノ音ノ吾邦
 應神帝人王第ノ御時百濟ノ王仁論語等ノ書ヲ推乃來ク
 太子仁德師トシ學ビ子玉トシ是ヲ漢音傳來ノ始トシ殊庭西晋武
 帝ノ時ニ當ルバ其舊トシ知ル又吳音傳來ハ太織冠鎌足卿攝
 政ノ時トアリ異朝ハ初唐ニ當ル千歳久キ間ニ殊庭字ヲ呼ク
 ノ變化シタルヲ吾朝傳來ノ音ニ異ス是ヲ唐音ト號スレタル唐
 音ヲ知ルヘキハ尤ノ如ク誦認テ字ニ向ヒ何ノ字モ唐音ニ讀ムシ
 ウ三イ二跳者跳ハ抑音ハ聲俱セ胎ト捨抑往直
 相通

一之五ニ 五又之ニ 二本韻ニ 三之五ニ 五又之三 四之一ニ
 音川上
 星蓮堂

ウ三ト東ノ字ノ如キ韻ヲウト呼モノ音ノ五音ノ三行下ヲ跳ル
 トラ音トシウラ韻トスル前段ニ徳ノ字ヲ以テ示如シ音ノ五音ト八東
 ト音ナババタ子ツテト三行東ト呼ハコウノ字ナラバコ音ノ三行カキ
 クケコニ六クナバ公ト呼下ヲウト呼字アウイウエウカウキウクウ
 ケウサウシウスウセウソウタウチウツウテウハウフウヘウホウヤウ
 ヨウラウリウレウロウワウヲウ皆同ク其五音ノ三行韻ヲ跳ル
 ○イニト明ノ字ノ如ク韻ヲイト呼モノ音ノ五音ノ二行下ヲ跳ル
 ノ音ナババミムメモニ行明ト呼清ノ字ナラバセ音ノ二行サシスセ
 ニハシナバ清ト呼下ヲイト呼字アイエイカイケイサイスイタイ
 テイハイヘイライレイ皆同ク其五音ノ二行テ韻ヲ跳ル
 者跳ト仙ノ字ノ如キ韻ヲ跳ルモノ直ニ仙ト呼賢ノ字トス唐音

モ賢ノ下ヲ跳ル字アインウエンラカンキンクンコンサンシンソシタン
 チンテントシヒシフシヘンホンラリリンロシワシナシニシメシモシ抑
 音ノクンシンシン皆其マ跳テ呼也○抑音入聲俱切脚トハ所ノ字
 ノ如キ抑音ハ韻ノヨラ捨テ音ノシラ以テ所ト呼去ノ字ナラバヨラ捨
 テ去ト呼下ニ呼韻ヲ捨テ以脚ヲ切ト云子ヨリヨシヤクハ皆同脚
 ヲ切テ上ノ音一字ヲ呼又習吉福曆ノ如クフウクキヲ韻ニ呼ハ總
 入聲之是モ韻ヲ捨テ習吉福曆ト呼此故ニ抑音モ入聲モ脚ヲ
 切ト云アファイフエフカフキフケフサフヒフタフチフテフフラフリフレフ
 アツイツクエツカツクツケツコツサツシツセツソツタツチツテツトツ
 ツヒツスツベツラツリツレツアツイクツカツキツコツサツクツクツク
 チクトクハクホクマクヨクラクロクワクイキエキヘキテキ皆ハ聲

之同ク脚ヲ切テ呼之 ○拾捌 往直トハ重ノ字ノ如キ拗音ハ前ノ假字
 反ヲ以テ子ヨヲ反セバトナル斯レテウ韻ナルハウニノ例ニテト音ノ
 三へ行^{一ニ三四五}タチツテトツヲ取テ重ト呼子ヨウノ拗音ヲ約シテトウノ直音
 ニスルヲ直ニ往ト云掌ノ字ナクシヤ反ササシセツニ三へ行掌ト呼也
 キヤウキヨウシヨウチヤウチヨウリヤウリヨウクハウヒヨウ皆直音ニ約シ
 ウニノ例ニシテ下ヲ跳之又回ノ字ノ如キハタワノ反カ^{一ニ三四五}カキクケコニへ行テ
 回トナル韻ライト呼ハイニノ例ニシテ下ヲ跳ル又入聲ノ拗音述ノ字
 ノ如キハジユノ反ズジユツラズツト約シ切脚スバ述トナル林ノ字ナラバ
 チユノ反ツツツヲ切脚シテ怵ト呼シヨクシヤクイヤクキヤクイヨクキヨク
 リヨクリヤクチヨクチヤク拗音ノ入聲皆同ジ此外順官ノ如キ拗音
 ノ跳ル字ノ直ニ往トナレ下ニウイノ韻ト入聲ノ拗音直ニ往ナリ

○相通トハ五音ノ内ニシテアヒカヨラ之是ハ二字ツクノ音ニテ韻
 ナキモノニ相通ノ例ヲ用ユ一之五トハ多ノ字ノ如キハタチツテト^九
 ノ五へ之テ多ト呼歌ノ字ナラバカキクケコ歌トナル又五之ニ故ニ
 土ノ字ハ^一タチツテト^五土トナル古ノ字ハ^一カキクケコ^五古ト呼之アサハヤフ
 ワノ如キ第一ニアル音ハ第五へ之ヲソホヨロノ如キハ一へ之ヲ做之
 ○二ハ本韻トハ相通ニ段目ノ横行イキシチニヒミ井リイノ音
 ハ其一ハ唐音ニ呼フ韻ノ字下ニ呼ヒキノ義ニアラス音ト云ニ
 同ジ然ルニ四之ニユヘニモ又四へ之テ伊ノ字ハ^一アイウエヲ^四伊ト呼^三
 幾ノ字ハ^一カキクケコ^四幾ト呼ベシ ○三之五トハ扶ノ字ナラバ^一ヒフ^三
 ホ扶ト呼五又之ニユヘ^一甫ノ字ノ如ハ^一ヒフ^三ホ甫トナル之ウク
 ノ如キ五音ノ三ニアルハ皆五へ之ヲコソトヨロノ如ク第五ニアルハ三

ヘシト皆同シ○四之二ハ五音四段ノエケセテ子ヘメエレハ二
段ノイキシチニノ音ニ通ズルヲ云然氏漢音ニ一字ニテエケセテ
子等ノ音ナシ相通ノ理ヲ知ントナラバ清ノ字サシセソ四ヨリニ
之テ清ト喚題ノ字タチツテト題トナルイテ例ナク者是ニ當リ
ウ三ノ例以上唐音ヲ讀ベギノ一隅ヲ舉兒童三隅ヲ以反フセヨ
ハ異ナリ
一二三ノ數位モ前ノ縱横五音五十字ノ圖ヲ以知レシ唐音法
ノニ出マト云氏適異モノアリ陶造絲搖瑤ノ字唐音イユト
呼類アリ又陽ノ字如キイヤ反ヤニシテヤ井ユエヨノ三へ行テ陽
ト叫イヤノイハアイウエヲノイニ非ズヤ井ユエヨノ井又庸ノ字
如キハイヨ反ヲニシテアイウエヲノ三へ行テ庸ト叫イヨノイハヤ
井ユエヨノ井ニアラスアイウエヲノイノ字音ノ出ル処ヲ知テ其

々ノ行ニ父字ヲ定ムシ然ザレ反切違音ニ的ラス又古來ヨ
リ平常ニ唐音ヲ呼來ルアリ普請松江春經ノ類片字ハ
唐音ヲ父呼フ何ノ故ヲ知ズ總テ音韻ノ巨細ヲ盡テ容易ナ
ラス其梗槩ヲ示ス

華音

華音上云モ唐音ト云同シ唐土ヲ中華ト稱ス其音ナハ華音
ト云ル今今專華音ト云モノ前ニ云唐音ニ異ナリ是又殊庭ノ訛
轉之然ルニ華音ヲ唱ル者ハ云往昔漢吳二音本邦傳ト云
今ニ考校ス西聲殺龍七音飛舛清濁輕重交謬テ
正律ニ協サバ果シテ唐土ヨリ傳ルモノカ怪ベシ音日傳來スル処ハ
都テ正音ニアラザレ俱ニ吾邦ノ和音ト謂フシ獨華音ノ呼

法嚴密開合清濁條理分明華音華丸所以也ト云リ其
 華音ト云モノ異國ノ今ニ呼処ト云譯家專此ヲ學フ其他
 音韻ヲ學ビ唐土ノ呼法ヲ知ント欲スル者是ヲ知ゼバ今ニ合ス
 其字ヲ呼フ前ニ記スモノニ異ナリ評註法ハ天字聖哲ノ
 如ク前ニ出タル唐音ヲ右旁ニ記シヨニ云華音ナル者ヲ左旁
 ニ書シテ萬葉伊呂波ノ文字ヲ以異ルヲ知シ唐音ト華
 音ト別物ニアラズ都テ名ハ唐音之呼フノ差ス殊庭字ヲ呼フ
 時ニ從テ轉ジタル之抑華ハ廢美ノ號ニシテ華ニ對スル夷也
 己ヲ華ト以テ呂波仁保邊登
 他ヲ夷ト知テ利奴少雷遠和加
 ス大唐ト與イ太連曾津彌奈

稱シ大日	良	武	宇	爲	乃	於	久
本國上嘉也	末	計	不	古	江	天	
キモ大ハ美	安	左	幾	油	女	美	之
稱也前段	惠	比	毛	世	寸	京	
モ述如唐	一	二	三	四	五	六	七
土人自國	ハ	九	十	百	千	萬	億

ヲ美稱シテ中華トシ他ヲ四夷ハ蠻ト稱ス左スルキナレ殊庭
 華ヲ以驕号ス從テ吾 日本ヨリ彼ヲ華トシ其音ヲモ華音
 トスル 日本ヲ己ヨリ夷トスル之吾 朝享保前後古學ヲ唱ヘテ
 大儒ト呼ル人ノ著書ニ間彼ヲ唱テ華トスルヲ見 學フ処何ヤ
 大體ヲ知ザルト云ベシ世ニ鳴テ他是ヲ大儒トスルハ愚ハ信セズ白石

先生たゞ書ニ彼ヲ称シテ華ト云フ見ズ或人云殊庭ヲ大唐ト
 称ス大ハ美称ト云凡又大小ノ大之唐土邦域ノ大ナル吾日本東
 海ノ方ニアル粟散ノ徧國比ニ非ズ大唐ト云モ理ノ當ル所足下
 ノ説強テ他ノ大ヲ忌妬スルニ似タリ答云公經書ヲ學テ未天學
 ニ及サズ地理ヲ知ス愚螢雪ノ寸暇ヲ得テ天文及曆數ノ學ヲ
 嗜テ粗其畧ヲ聞ケリ爲ニ是ヲ説シ凡地實ニ載ル萬國ノ夥
 シキ是ヲ五ツニ分チ五大洲ノ名アリ曰亞細亞曰歐羅巴曰利未
 亞曰亞墨利加曰墨瓦臘泥加亞墨利加ニ南北ニツアリ合テ六大洲トス日本
 支那印度韃靼等ノ諸國コレヲ亞細亞ニ屬ス萬邦坤輿ニ
 連滿シテ其土域唐土ニ倍スモノ其數ヲ知カラス獨唐土ヲ以テ大
 國ト思ハ井底ノ蛙ヘイテイノワ海川カイケンノ知カスニ等クサ壯子ガ北溟ホクメイノ魚

ト蚊ノ睫ニ巢ノ寓言モ大ヲ知ズ小ヲ知サルノ病ヲ醫ベシ吾邦ヲ粟
 散ノ徧國ト思モ又實ハ不然覆載ノ間ニ在萬邦ノ各々乾坤ノ
 大ナルニ比スバ唐天竺テウテンテウ如モ眼齒粟ヨリ少シトス唐ヨリ日本ヲ指テ
 粟散國或ハ東夷孤島ト云モ實ニ五十歩ニ止テ百歩ニ走ル
 ヲ笑之天地ノ廣大ナル何レヲ中トシ何レヲカ徧トセン各國各地皆天
 地ノ中ナルヲ知テ始テ乾坤ヲ譚ベシ韓氏天地人ニ通スルヲ儒
 謂ト云ズヤ往時ノ聖神大道ヲ闢建シ後小道ニ至テ萬事
 古ハ疎ク今ハ密ト云氏字音ノ如キハ一概ニ今ヲ止トシ古ヲ非スベ
 カラズ儀禮官服ノ如キ殊庭明ノ太祖適胡元ニ代テ天曆ヲ得
 タルモ今時清ニ草命スバ先王ノ法服ナリヤ先王ノ法言ナリヤ殆
 知カラス孔子ノ春秋華夷ノ辨嚴重ナルヲヤ

音訓國字格

乾卷終

音訓國字格 坤

音格目

- アウアフロウヲウヲフ之別
- カウカフコウコフクウ之別
- サウサフソウ之別
- タウタフトウトフ之別
- ハウフホウホフ之別
- ヤウヨウエウエフ之別
- ラウラフロウ之別
- イウユウイフユフ之別
- キウキフ之別
- シウシフ之別
- チウチフ之別
- リウリフ之別
- シヤウシヨウセウセフ之別
- チヤウチヨウテウテフ之別
- キヤウキヨウケウケフ之別
- リヤウリヨウレウレフ之別

- ヒヨウヘウヒヤウフ之別
- ミヤウメウ之別 吳音
- ニウモウ之別 吳音
- ナウノウチフ之別 吳音
- ミウニヨウ子フ之別 吳音

訓格目

- イ井ヒ之別
- ヘエエ之別
- ホヲオ之別
- ハワ之別
- ウフ之別
- 濁假字之別
- ツ内外之別
- ムニ開合之別
- 訓之相通

音訓國字格 坤

武江 高井伴寬思明述

國字音格

字音^ジラ國字^カニ書ス^ナニ直音^{チヨクイン}ハホウ^ホウ^ウハ^ウフ^フカ^カウ^ウコ^ウウ^ウノ類^カ柳^ア
 音^{イン}ハ^ハシ^シヤ^ヤウ^ウシ^シヨ^ヨウ^ウキ^キヤ^ヤウ^ウキ^キヨ^ヨウ^ウノ類^カニ誤^{アヤル}其^イ委^{キヨク}曲^クハ韻^{イン}學^{ガク}子^ニアリ
 テ俄^{ガキヤウ}項^ニ得^ガカタ^シト云^ヒ本^{モトツ}ク^ル左^ニ誌^シレテ^ヒ疑^ギ惑^{ワク}ナ^カラ^シラ^フ欲^{ホツ}ス
 アウ^アア^アフ^フワ^ワウ^ウラ^ラフ^フ之^ノ別

アウ 映^テス^ラ柳^ラル^ル 柳^ラル^ル 恠^モル^ル 咬^カム 奥^オク^ク 奥^オク^ク 燠^キシ 媪^ウウ^ウ 鏝^カカ^カ 媪^ウウ^ウ コ^コニ
 鴛^ララ^ラ 盜^ホト^ト 鴛^ウウ^ウ 鴛^アア^ア 櫻^サラ^ラ ノ類^カ 江^カウ^ウ 春^カウ^ウ 豪^カウ^ウ 陽^ヤウ^ウ 唐^カウ^ウ 庚^カウ^ウ
 耕^カウ^ウ 清^セイ^イ ノ韻^{イン}ニ屬^シス^ル 字^ジハ平^ヒ上^ウ去^{キョ}俱^トニ^モア^ウ也^ニ 韻^{イン}頭^{トウ}平^{ヘイ}字^ジヲ^シ記^シ
 アフ 吧^バナ^ナ 始^シシ^シ 匠^シラ^ラ 押^シス^ス 聞^カキ^キ 鴨^カモ^モ 壓^ヤサ^サ ノ類^カ 台^カカ^カ 盞^カカ^カ 洽^カカ^カ



狎ノ韻ニ屬スル入聲ノ字ハアフ也

ワウ 玉キミ 尪ハ 枉ガ 旺ガ 往カ 汪ツ 吳音ノ皇ス 黃キ 横ヨ

凰ホウノ類陽唐カウ 庚耕清ノ韻ニ屬スル字ハワウ也

ラウ 翁オキ 雍モ 歐カ 鷗メ 謳ウ 謳ウ 吳音ノ應マ 膺チノ類

東トウ 尤ユウ 幽ユウ 蒸登ノ韻ニ屬スル字ハラウ也

ヲフ 吳音ノ邑チ 始シノ類入聲ユヘリフ也

カウカフコウコリクハウ之別

カウ 江エ 控キョウ 講キョウ 項キョウ 巷キョウ 降カウ 肴カウ 校カウ 教カウ 巧カウ 高カウ

交カウ 昊カウ 告カウ 耗カウ 好カウ 吭カウ 糠カウ 岡カウ 剛カウ 行カウ

更カウ 庚カウ 耿カウ 亨カウ 吳音ノ香カウ 向カウ 仰カウ 響カウ 強カウ

薑カウノ類江音豪陽唐庚耕清ノ韻ニ屬スルハカウ也

カフ 閣カフ 蓋カフ 合カフ 蛤カフ 盍カフ 嗑カフ 袷カフ 甲カフ 挾カフ 洽カフ

狹カフ 狎カフ 匣カフノ類合盍洽押ノ韻ニ屬スル入聲ノ字

ハカフ也

コウ 孔コウ 空コウ 汞コウ 公コウ 工コウ 貢コウ 功コウ 攻コウ 洪コウ 紅コウ

虹コウ 控コウ 颺コウ 肯コウ 肱コウ 且コウ 溝コウ 侯コウ 苟コウ

吼コウ 鈎コウ 厚コウ 口コウ 狗コウ 后コウ 寇コウ 薨コウ 弘コウ 恒コウ

吳音ノ興コウ 兢コウ 凝コウノ類東冬蒸登尤侯幽ノ韻

屬スルハコウ也

コフ 吳音ノ劫コフ 踏コフ 業コフ 閤コフ 脅コフ 泣コフ 及コフ 急コフノ類

入聲ユヘコフ也

クハウ 黃クハウ 遑クハウ 惶クハウ 廣クハウ 皇クハウ 凰クハウ 蝗クハウ 曠クハウ 荒クハウ 絃クハウ

光^ト横^ミ 轟^トノ類陽唐庚耕清ノ韻屬スルハクハウ也

サウ^カソウ^カソウ^カ之別

サウ^カ窓^カ雙^カ草^カ巢^カス瓜^カ早^カ騷^カ抄^カ瑯^カ稍^カヤ

竈^カ蠟^カ噪^カ臊^カ棗^カ造^カ燥^カ藻^カ倉^カ霜^カ

喪^カ裝^カ藏^カ臧^カ傘^カ鎗^カ吳^カ音ノ相^カ想^カ在^カノ

類江肴豪陽唐庚耕清ノ韻ニ屬スルハサウ也

サフ^カ颯^カ雜^カ巾^カ駮^カ抽^カ笈^カ扱^カ筴^カ羽^カ旁^カノ類

合盍^カ洽狎ノ韻ニ屬スルハサフ也

ソウ^カ聰^カ送^カ叢^カ宗^カ宋^カ敷^カ走^カ嗽^カ湊^カ僧^カ

僧^カ贈^カ層^カ增^カ曾^カ類東冬蒸登尤侯幽

ノ韻ニ屬スルハソウ也

ソフ^カ字ノ音ニ此假字ナシ

タウ^カタフ^カトウトフ^カ之別

タウ^カ撞^カ椿^カ幢^カ開^カ嘲^カ詭^カ權^カ清^カ道^カ盜^カ

島^カ踏^カ陶^カ擣^カ討^カ逃^カ韜^カ箱^カ刀^カ倒^カ

堂^カ塘^カ唐^カ湯^カ當^カ橙^カ澄^カ類江肴豪陽

唐^カ庚耕清ノ韻ニ屬スルハタウ也

タフ^カ塔^カ榻^カ答^カ納^カ沓^カ還^カ袞^カ類合盍ノ韻ニ

屬スルハ聲ノ字ハタフ也

トウ^カ東^カ凍^カ凍^カ童^カ痛^カ瞳^カ同^カ桐^カ冬^カ農^カ

統^カ等^カ登^カ能^カ藤^カ燈^カ鼓^カ實^カ豆^カ頭^カ

投^カ偷^カ斗^カ透^カ逗^カ類東冬蒸登尤侯幽

ノ韻ニ属スルハトウ也

トフ 吳音ノ答カサ水カサ踏キキノ類入聲ニトフ也

ハウハフホウホフ之別

ハウ 邦ニ棒ツ泡ス庖ウ昂ホ印ウ包マ抛ナ砲キ報ム

毛ケ老オ衰ホ保タ寶カ帽カ暴カ方カ房子坊子

望シ亡シ忘シ旁カ萌カ棚カ盲カノ類江香豪

陽唐カ庚耕清ニ属スルハウ也

ハフ 法リ乏ト祛ヤノ類業ノ之ノ韻ニ属ス入聲ノ字ハフ也

ホウ 豊カ雪キ曹カ蒙カ蜂カ奉カ捧カ縫カ金カ朋カ

幽ノ韻ニ属スルホウ也

幽ノ韻ニ属スルホウ也

ホフ 吳音ノ法リ乏ト祛ヤノ類入聲ニホフ也

ヤウヨウエウエフ之別

ヤウ 洋カ陽カ養カ羊カ佯カ揚カ央カ聖カノ類吳音

抑カ永カ采カ影カ英カ盈カノ類陽唐庚耕清

音ノ韻ニ属スルハヤウ也又イヤウノ抑音也

ヨウ 雍カ勇カ雍カ踊カ用カ傭カ庸カ容カ乃カ朥カ

鷹カ雀カ膺カ子カ應カ蠅カノ類冬カ蒸登ノ韻ニ属スルハ

ヨウ也又イヤウノ抑音也

エウ 陶カ臯カ腰カ鷄カ殊カ謠カ妖カ大カ杳カ耀カ瑤カ

搖カ要カ遙カノ類蕭宵ノ韻ニ属スルハエウ也又イヤウノ

エフ 厭カ厭カ鬼カ饒カ葉カ曄カ燁カ浥カ髡カ高カ哀カ厭カノ類

葉帖ノ韻ニ屬スル入聲ノ字ハエフ也

ヨフフ 字ノ音ニ此假字ナシ

ラウラフロウ之別

ラウ 瀧 勞 撈 老 潦 浪 廊 狼 琅 郎 朗 琅 朗ノ類 江 音 豪 陽 唐ノ韻ニ屬スルハラウ也

ラノ 蠟 鐵 檝 拉ノ類 入 音 盞ノ韻ニ屬スル入聲ノ字ハラフ也

ロウ 隴 聾 聾ノ類 隴 龍 弄 隆 楞 凌 稜 較 稜 樓 樓ノ類 漏 牖 傳 鏤 陋 婁 婁ノ類 東 又 蒸 登 尤 侯 幽ノ韻ニ屬スルハ

ロノ 字ノ音ニ此假字ナシ

イウユウイフユフ之別

イウ 雄 熊 彤 融 郵 羞 鮒 友 虺 疣 右 游 憂 猷 猷ノ類 秀 祐 幼 杓 柚 有 尤 攸 又 酉 優 幽 宥 由 類 東 尤 侯 幽ノ韻ニ屬スルハイウ也

ユウ イウト云音ユウトモ書ス

イフ 邑 楫 挹 悒 熠 煜 浥ノ類 緝ノ韻ニ屬スル入聲ノ字ハイフ也

ユフ イフト云音ユフトモ書ス

キウキフ之別

音訓下

五 星 遺 堂

キウ宮^{ミヤ}躬^ミ弓^{ユミ}窮^{キウ}丘^カ牛^ウ久^ク海^{カイ}舅^{キウ}仇^{キウ}求^{モト}
鬪^ク韭^ミ疾^イ毬^キ灸^キ朽^キ枢^キ休^キ舊^キ臼^キ
蚪^キノ類東尤侯幽ノ韻ニ属スルハキウ也

キフ急^キ給^キ汲^キ泣^キ翁^キ笈^キ關^キ級^キ及^キ沼ノ類
緝ノ韻ニ属スルハ聲ノ字ハキフ也

レウレフ之別

レウ衆^オ冬^オ蝮^オ戎^オ終^オ崇^オ琿^オ充^オ秋^オ州^オ之獸^オ
手^テ愁^ウ囚^ウ狩^ウ授^ウ酬^ウ羞^ウ售^ウ鞦^ウ酒^ウ

綬^ク就^ク收^ク袖^ク繡^ク周^ク秀^ク臭^クノ類東
尤侯幽ノ韻ニ属スルレウ也又レウノ抑音也

レノ隰^ウ緝^ウ習^ウ入^ウ拾^ウ執^ウ什^ウ汁^ウ楫^ウ十^ウ濕^ウ

集^ム茸^ムノ類緝ノ韻ニ属スルハ聲ノ字ハレフ也

チウチフ之別

チウ中^チ忠^チ蟲^チ仲^チ种^チ衷^チ冲^チ疇^チ宙^チ曹^チ

畜^ク肘^チ繇^チ惆^チ紐^チ酎^チ紬^チ躊^チ惆^チノ類
東尤侯幽ノ韻ニ属スルハチウ也又株^チ柱^チ厨^チ

註^シ誅^シ如音チユナレ氏チウト呼來レリ

チフ蟄^チ執^チ紕^チ浴^チ子^チ孛^チノ類緝ノ韻ニ属スルハ聲ハチフ
又レウトチウト自ラ別ナレ氏濁バ混ジ勿シ講中臨終

什^シ室^シ文集ノ類誤^レ勿^レ

リウリフ之別

リウ流^リ溜^リ畎^リ雷^リ驪^リ劉^リ瘤^リ雷^リ柳^リ旒^リ

疏スリノ類イウコノ尤コノ幽イフノ韻ニ屬スルリウ也

リフ 立タツ多タ粒リツツツ立タツ多タノ類ニ緝ニ韻ニ屬スル入入聲ノ字ハリフ也

シヤウシヨウセウセフ之別

シヤウ章ア象カ牆キ將キ掌チ湘ノ匠ミ障サ敝モ上カ

昌サ尚ト相タ賞タ傷ヤ翔カ嘗ツ詳ツ樟ト裳モ

尚ト槍キ祥サイ唱ト常ツノ類ハ吳音ハサ莊カ清キ井イ

情コ淨キ靜カ請コ精シ生シ性シ省カ青ア星ホ

成カ政コ正シ整カ成カ聖シ爭ツノ類陽唐カ庚

耕カ清シ青シノ韻ニ屬スルハシヤウ也

シヨウ松ソ腫ソ種ソ從ソ衝ソ縱ソ茸ソ聳ソ鍾ソ鐘ソ

頌ソ訟ソ蚣ソ丞ソ蒸ソ證ソ乘ソ稱ソ承ソ

昇シ勝カ繩カ升カ仍カノ類冬蒸カ登カノ韻ニ屬ス

ルシヨウ也

セウ宵セ瀟セ沼セ噍セ笑セ嘯セ蛸セ篠セ少セ小セ

樵セ照セ椒セ韶セ嫖セ莠セ繞セ紹セ招セ肖セ

簫セ燒セ消セ惟セ道セノ類蕭宵セノ韻ニ屬スルハ

セウ也又コレラシヤウトモ書ベシ

セフ 歃セ睫セ妾セ接セ涉セ筵セ燮セ捷セ摺セ葉セ

決セノ類葉帖セノ韻ニ屬スル入入聲ノ字ハセフ也

シヤフ 字ノ音ニ此此假假字字ナシ

子ヤウ子ヨウテウテフ之別

子ヤウ 仗シ長シ脹シ悵シ娘シ腸シ杖シ丈シ昶シ帳シ

張允暢允ノ類吳音ハ打ウ俚ル睦允 裳允貞ノ頂
丁ト鄭ウツ聽ク汀ト挺ヒテ定ガ町ニチノ類陽唐庚
耕清青ノ韻ニ屬スルハチヤウ也

チヨウ重カ醜サ家ツカ 徵メス 瞪ス澄ス 懲スノ類冬々蒸登
ノ韻ニ屬スルハチヨウ也

テウ 朝^{アサ} 召^{メス} 貂^{シウ} 鷗^ウ 釣^{テウ} 吊^{テウ} 調^{テウ} 挑^{テウ} 眺^{テウ} 彫^{テウ} 彫^{テウ}
肇^{ハシ} 兆^{テウ} 凋^{テウ} 施^{テウ} 桃^{テウ} 鳥^{トリ} 條^{テウ} ノ類蕭宵ノ

韻ニ屬スルハテウ也 又コレヲチヤウトモ書

テフ 蝶^{テフ} 躡^{テフ} 捻^{テフ} 蝶^{テフ} 貼^{テフ} 黻^{テフ} 執^{テフ} 衣^{テフ} 牒^{テフ} 躡^{テフ}
疊^{テフ} 帖^{テフ} 輒^{テフ} 喋^{テフ} ノ類葉帖ノ韻ニ屬スル入聲ノ
ノ字ハテフ也

チヤフ 字ノ音ニ此假字ナシ

又シヤウチヤウセウテウ自ラ別ナレ濁ルトキ混シ
易シ敏系昌 丈夫 燒亡 條目ノ類誤ヘカラス

キヤウキヨウケウケフ之別

キヤウ 郷^{キヤウ} 疆^{キヤウ} 仰^{キヤウ} 羹^{キヤウ} 祝^{キヤウ} 狂^{キヤウ} 向^{キヤウ} 強^{キヤウ} 況^{キヤウ}
匡^{キヤウ} 莖^{キヤウ} 香^{キヤウ} 薑^{キヤウ} 吳音ハ京^{キヤウ} 敬^{キヤウ} 慶^{キヤウ} 勁^{キヤウ} 輕^{キヤウ}

卿^{キヤウ} 頸^{キヤウ} 迎^{キヤウ} 競^{キヤウ} 頃^{キヤウ} 兄^{キヤウ} 行^{キヤウ} 刑^{キヤウ} 幸^{キヤウ} 馨^{キヤウ} 香^{キヤウ}
脛^{キヤウ} 經^{キヤウ} 徑^{キヤウ} ノ類陽唐庚耕清青ノ韻ニ屬スル

キヤウ也

キヨウ 其^{キヨウ} 恐^{キヨウ} 胸^{キヨウ} 拱^{キヨウ} 供^{キヨウ} 共^{キヨウ} 巩^{キヨウ} 凶^{キヨウ} 興^{キヨウ} 疑^{キヨウ}
ノ類冬々蒸登ノ韻ニ屬スルハキヨウ也

ケウ 橋ハシ 梟カウ 矯キョウ 叫ケウ 曉キョウ 亮キョウ 僑キョウ 徼キョウ 曉キョウ 敷キョウ

喬キョウ 類セウ 蕭宵セウ 韻ニ 屬スル ハケウ也 又コレヲキヤウ氏書

ケフ 頰カ 恆カナ 協カ 挾カ 莢カ 篋カ 業カ 効カ 怯カ オル

切カ 極カ 類セウ 葉帖セウ 業カ 之ノ 韻ニ 屬スル 入聲ノ ハケフ

キヤフ 字ノ音此假字ナシ

リヤウリヨウレウレフ之別

リヤウ 梁リヤウ 涼リヤウ 諒リヤウ 亮リヤウ 量リヤウ 兩リヤウ 梁リヤウ 米リヤウ 良リヤウ 糧リヤウ

類カウ 吳音カウ ハ冷カウ 令カウ 領カウ 零カウ 靈カウ 類カウ 陽唐

度カウ 耕カウ 清カウ 青カウ 韻ニ 屬スル ハリヤウ也

リヨウ 龍リヨウ 隴リヨウ 陵リヨウ 凌リヨウ 鯨リヨウ 井リヨウ 類リヨウ 冬リヨウ 蒸登リヨウ 韻ニ 屬スル

スルハリヨウ也

レウ 僚レウ 僚レウ 料レウ 療レウ 繚レウ 燎レウ 了レウ 寮レウ 聊レウ

ノ類セウ 蕭宵セウ 韻ニ 屬スル ハレウ也 又コレヲリヤウトモ書

レフ 獵レフ 鬣レフ 躐レフ 甄レフ 類レフ 葉帖レフ 韻ニ 屬スル 入聲ノ

字ハレフ也

リヨフ 字ノ音ニ此假字ナシ

ヒヨウウハヤウヘフ之別

ヒヨウ 冰ヒヨウ 馮ヒヨウ 憑ヒヨウ 棚ヒヨウ 凭ヒヨウ 砵ヒヨウ 涪ヒヨウ 類ヒヨウ 蒸登ヒヨウ 韻ニ

屬スル ハヒヨウ也

ヘウ 表ヘウ 彘ヘウ 猫ヘウ 眇ヘウ 抄ヘウ 縹ヘウ 瓢ヘウ 標ヘウ 漂ヘウ 渺ヘウ 標ヘウ

鑣ヘウ 貌ヘウ 妙ヘウ 儀ヘウ 苗ヘウ 廟ヘウ 類ヘウ 蕭宵ヘウ 韻ニ

屬スル ハヘウ也 又コレヲヒヤウトモ書

ヒヤウ 吳音ノ平 カタラ 兵 ヒ 病 ビ 柄 ヒ 瓶 ヒ 並 ヒ 評 ヒ 萃 ヒ 筵 ヒ
ノ類 庚 カウ 耕 カウ 清 セイ 青 セイ ノ韻ニ属スルヒヤウ也又ハ漢音ヘウ
ト云フヒヤウモ書

ヘフ 鷓 ガシ ノ類 葉帖ノ韻ニ属スル入聲ノ字ハヘフ也
ミヤウメウ之別 吳音

ミヤウ 明 アキ 名 ナ 命 メイ 若 ニヤ 冥 メイ ノ類 庚 カウ 耕 カウ 清 セイ 青 セイ ノ韻
属スル字漢音ハヘイ也

メウ 苗 ナ 猫 ネ 妙 テウ 眇 テウ 貌 カウ ノ類 蕭 セウ 宵 セウ 肴 カウ 豪 カウ ノ韻
ニ属シテ漢音ハベウハウ也

ミヤフ 字ノ音ニ此假字ナシ 字音ニナキ者ヲ知レハ何ノ
故ゾナラバ愚 グ 嘗 カウ テ市 シ 塵 チ 蠟 ラウ 燭 ツク ヲ賈 アキナフ 招牌 カシ ニロフツク

ト書ルヲ見 或ハ糈 ホシ ヲ水 スイ ニ和 カス シ暑 シヨ 中 チュウ ノ往來 ユキ ニ商 シヤウ フ掛牌 カク
ニ大書シテ道明寺 ドウメイジ 其旁 カハラ ニ國字 クニジ ヲ附シテトフメヤフ
チトアルヲ見是字ヲ知テ假字ヲ知ザルノ誤 アヤ ナラズヤ故
ニ悉ク音ニナキモノヲ誌ス 豈 アヒ 識者 シキヤ ノ爲ナラシ其煩 ワザラシ シ
キラ訝 イフ ナカレ

一ウモウ之別 吳音

一ウ 厖 オホ 帽 カシラ 毛 モウ ケ 亡 ホフ 妄 マダ 莽 マダ 茫 マダ 罔 ナシ ノ類

江 カウ 豪 カウ 陽 ヤウ 唐 タウ ノ韻ニ属スル字漢音ハハウ也 孟 メイ 猛 メイ
音 メイ クラハ吳音ミヤウ也 今一ウニ作ルミヤ反一之モウニ
作ル非

モウ 曹 ソウ 惜 シキ ノ類 蒸 テイ 登 テイ ノ韻ニ属スル字漢音ホウ

蒙シカ朦クラ夢マノ類東冬ニ属スル字吳音モムト
讀ヨムモノ又モウニ作ル

モフ

字ノ音ニ此假字ナシ

ナウノウナフ之別 吳音

ナウ

獠シ腦ハ磁シ腴シ囊シ曩シ類豪陽唐ノ韻

ニ属スル字漢音タウ也

ノウ

能ヨク屬カ鼎ホノ類蒸登ノ韻ニ属スル字漢音トウ也農

膿ウノ類冬ノ韻ニ属シ吳音又也今ノウニ作ル

ナフ

納ナ納ナ納ナ類合盍ノ韻ニ属スル入聲ノ字漢

音タフ也

ノフ

字ノ音ニ此假字ナシ

ニヤウニヨウ子フ之別 吳音

ニヤウ

燒シ尿シ撓シ勗シ釀シ孃シ犖シ繞シ饒シ

ノ類蕭宵陽唐ノ韻ニ属シ漢音ハタウテウシヤウ也

ニヨウ

聾シ聾シ聾シ農シ仍シ耳シ孫シ認シノ類江蒸登ノ韻

ニ属シ漢音タツシヨウ也

子フ

誦シ聶シ聶シ捻シノ類葉帖ノ韻ニ属スル入聲ノ字漢

音ハテフセフ也

ニヤフ

字ノ音ニ此假字ナシ

ニヨフ

以上一ヲ舉テ其他ヲ准ジ知セシ爲證字五六字ツヲ記スモノ

也

都テ其々ノ韻ニ属スルハ五音ノ圖ノ横行ニ從フ横行ノ第一

アカ

陽唐庚耕清春豪江ノ韻アワカウサウタウノ

類ノ音コレニ屬ス第二イキレチニノ行ハ東冬、尤侯幽ノ韻イウ
キウレウチウ又ハキヨウレヨウノ類ノ音コレニ屬ス第三ウク
スツ又ノ行ハ東虞模尤侯幽ノ韻クウスウウノ類ノ音コレ
ニ屬ス第四エケセテ子ノ行ハ蕭宵ノ韻エウケウセウテウ
ノ類ノ音コレニ屬ス第五ヲコソトノ行ハ東冬、蒸登ノ韻
ラウコウソウトウノ類ノ音コレニ屬ス都テ如此ナレバトハ
ホウ別チカタクハ其字ノ韻ヲ見ル也東冬ノ韻ハヲコソトノ
ホモヨロオユホウノ假字ト知ル陽唐ノ韻ノ字ナレバアカサ
タナハヤラワユハウノ假字ト知ル如レ下ヲフト云入聲ノ限ル
也又拗音ノイヤウイヨウキヤウキヨウシヤウシヨウチヤウチヨウ
ニヤウニヨウヒヤウヒヨウミヤウミヨウリヤウリヨウハ五音第二

ノ横行イキレチニヒミ井リイニアツテ其他ノ横行ニウト
引拗音ナシ又直音ウト引モノ第一ノ横行アカサト第五
ノ横行ノ行ト相似ルアウカウサウタウチウハウニウヤウラウ
ホウ第二ノ横行イキレチト第四ノ横行エケセテト大ニ似サレ
少ク近シイウキウセウコレヲ一方拗音ニスレバ大ニ似サレ
シヤウチヤウニヤウヒヤウミヤウ井ヤウリヤウイヤウサレカウ似タレ
別ニキヤウ等ク用ル如キアバ能五音ノ出ル処ヲ知レテ誤コナレ
又イ井ヲオエエハ輕重ノ別アル音ニ相通シテ用來リ

國字訓格

字訓ヲ假字ニ書スルニイ井ヲオハ同音ニ謬リイヒヲホハ
異音ニ誤ル五十字ハ縱横ニ相通シ各某ノ音ニ通フ

ヲ知リ伊呂波四十七字ハヒフホノ五字ワイウエオニ通フ
アルヲ辨ヘテ訓ノ假字ヲ解得ベシ必シモワイウエオ五字
ニ要アル之其通フ假字ヲ知シメタル詞ノ哥ニ云

色ハ雖艶散去ヲ我世誰ゾ則常有爲ノ奥山
今越テ淺キ夢不見醉モ不爲

此哥詞則ハヲワト讀ホヲオト讀ヘヲエト讀フヲラト讀

ヒヲイト讀テハヒフホトワイウエオト通フアルヲ悟セル此
詞諸行無常是生滅法生滅滅爲寂滅爲樂ト云浮屠

ノ經文ノ意ニ合シメタル也トテ諸說アレハ愚ハ取用ス唯ハワ等ノ
通フヲ示スニ用有テ其餘詞ノ意味ニ用ナシ元來浮屠氏ノ手

ニ出タル釋門ニ諸說アフニモ宜ク諸五十字ノ内ニイニウエ

ニツ同音同字ニ似用異ナリ又イヲエハ輕ク井オエハ重シウニモ
輕重アル下ノウノ字ニ於テ解説スル如シ

イ井ヒ之別

イ 端ノイト云蓋シ五十字ニテ云ニ非ズ伊呂波四十七字ノ

序次ヲ以端中奥前後ト云ハ同音異字ヲカツ詞ナリ

以下皆倣之イハ輕シ音ノ上下ニアル印陰有域一

禮 經聖清系榮財戒ノ類訓頭ニアル色岩今

勇息ノ類訓中ニアル平參冲序ノ類訓下ニ有

テ就ツキテ樂終シキ多シク遠トヲキトヲク無ナクナク

ウシクノ如クイキシチニウクスツ又等ニ通フハイ也

井 中ノ井上云重シ一字ノ訓 坐井膽猪居亥射ノ類

重クシテ外ニ通又字又ハ訓ノ下ニ有テ位宿直藍鳥辛

塊タラ盤初タラ紅タラ推タラ杭タラ新タラノ類外ニ通又ハ井也又トハ塊ヲ

タラシク盤タラヲタラヘト訓スガラス是ヲ外ニ通又ト云又字ノ

音ハ井通シ用氏實タラアリ尹雄タラ固タラ己タラ回タラ會タラ永タラノ

字皆イニ非ズ又水雞タラノ如キ訓ハ平タラ參タラノ類ニ異ナリ

井重ケハ井ニアラス

ヒ 奥ノヒト云イヨリ又輕シイノヒト書ハ輕ク弱キ処ニ用ユ

飯ヒ灰ヒ鶯ヒ甲ヒ弥ヒ生ヒ或ハヒスホノ相通ナル思ヒオモヒカシ

占ヒウラナヒウラナヘ逢ヒアヒアヒ言ヒイヒイヘ問ヒヒトノ類ヒ

ヲイト讀ム

へ工工之別

へ 端ノへト云エヨリモ又輕シエラト書ハ占ウラチヘウラチフ

願ウラチヘウラチフ子ガヒ子ガシ賜ウラチヘウラチフタタヒタラ榮ウラチヘウラチフサカヘリタラ候ウラチヘウラチフサラヒサラハシノ類

ハヒフヘホニ通フモノ又中ニ有テ楓ウラチヘウラチフ歸ウラチヘウラチフ返ウラチヘウラチフ堪ウラチヘウラチフノ類下ニ有

古ウラチヘウラチフ前後ウラチヘウラチフ白妙ウラチヘウラチフノ類ヘラト讀テ輕シ杖ウラチヘウラチフ梢ウラチヘウラチフ行ウラチヘウラチフ衛ウラチヘウラチフナト

重クシテハニ非ス

工 中ノ工ト云輕シ一字ノ訓荏柯柄江得穢ノ類又

輕キ訓枝ウラチヘウラチフ撰ウラチヘウラチフ役ウラチヘウラチフ筋ウラチヘウラチフ榎ウラチヘウラチフ之類又添ウラチヘウラチフソエル越ウラチヘウラチフコエル代ウラチヘウラチフカユル

教ウラチヘウラチフオシテ見ウラチヘウラチフカボテ拵ウラチヘウラチフコレラヒ消ウラチヘウラチフキユル飢ウラチヘウラチフウケルノ類ユニ通フ訓又

字ノ音ハ英ウラチヘウラチフ盈ウラチヘウラチフ延ウラチヘウラチフ縁ウラチヘウラチフノ類工之ヤ井ユエヨノ相通ナルユヘ

ユニ通フ工ハアイウエラノ工ニ非ス五音五十字ニイニ工

ニツアルヲ故アルヲ知ヘシ

上 奥ノエー云重シ訓ノ頭ニ有テ重ク下ニ有テ外ニ通又
ニ用ユ笑醉穿畫彩衛士又末声机植ノ類之
植ウルト通ヘトワイウエオニテエ之飢ウユルヤ并ユエヨ
ニテ異之又字ノ音ニエエ通シ用レ氏承女曲ニハ別アリ
永詠圓鹽葉ノ類上也

ホヲオ之別

ホ 端ノホト云ヲヨリ又輕シホヲノト讀ハ一字ノ音ヲ訓ニ
交ヘ用ル佐保姬三保ノ類又ハ輕キ訓菴黃鳩公
十寸穂ノ類也一説ニ顏カホ宰リホ舞ア郡ヨリ鹽系
ノ類音ヲ跳ル字皆ホヲノト讀ト云誤ナルベシ魚棹汝
氷白大江ノ類字音跳ルルヒホ之然バヲヨリ輕キ訓ニ

用ルト知ベシ

ヲ 中ノヲト云輕シ訓ノ頭ニ有テ輕キ小篠小倉音ヲ
女シガ愚心ノ類又ハ訓ノ中ト下ニ有テホヨリ重キ
猶濔ノ類又ハ手示乎葉ノ助字夫ヲ是ヲト云ヲ
オ 奥ノオト云重シ御男思大多生想起ノ類又ハ
一字ノ訓夫萃緒紐尾雄ノ類ハオ之

ハワ之別

ハ 前ノハト云輕シワヲト書ハ輕キ訓ノ中ニアル祝賑終ノ
類手示乎葉ノ助字是ハ夫ハノ類又ハ不破阿波音
羽邂逅ノ類音ノ中ト下ニアル宦光郭果回ノ類皆
ハヲワト讀也

ワ 後ノウト云重シ一字ノ音ヲ吳音ニ讀倭和話一字ノ
 訓輪田ノ如キヨリ都テ訓ノ上ニアル分絶々惡若綿脇我
 ノ類下ニアル團支離ナドノ重キワ也

ウフ之別

ウ 前ノウト云輕重アリ音ノ下ニアル紅江廣興強曉松

昌笑重長仲龍良了衆照北要陽庸ノ諸ウト

引音ニ用東紅公ノ類音ヲ引テオノ音ニ紛ルモノ又

訓ノ下ニアル正々シク遠トオク嬉ウシク寒サムク珍メシク

辛カラクノ類クニ通フ以上ノウハ重クワイウエオノウ也

又ニ通フアリ音ハ判シウ三サウ柑カウ訓ハ冠カウフリノ

如キ又音ノ頭ニアル雲運鬱ノ類訓ノ頭ニアル義得

兔牛鷲疑ノウハ輕クアイウエラノウ之サバ五音ノ

五十字ウニ通フイエハアイウエラノ行ニアリユニ通

フイエハヤ井ユエヨノ行ニアル也

フ 後ノウト云輕シ訓ノ下ニ有テヒフノ相通ナル願子カク

子カヒ思オモフオモヒウラチウラチヒノ類又ハウニ響音ク

昨日今日夕扇ノ如ク何レモ通サル者或ハ芝生蓬

生羽生淺芽生之類フラウト讀其餘入聲ノ字ノ

音邑及集蟻合蠟急塔協蝶獵葉之法

ノ類皆フク

濁假字之別

始虹辻富士鬮鯨躑躅雉短聖交七

出^イ辱^ク助^ス藤^フ直^キ氏^ウ味^ア懼^オ伯^オ父^チ無^ア端^チ攀^ヨ肱^ル
 出^イ屑^ク恥^シ近^チ埋^ム泥^ナ帳^カ僅^ワ泉^イ田^タ鶴^ツ點^チ頭^ク開^ル
 必^カ葛^ス疵^ク數^カ箴^子鷄^ウ尋^ラ相^タ蛙^ス鳴^コ竹^ス古^ハ蚯^ス蚓^ス
 右ノ類サレセソ。夕チツテトノ五音ニ仍テ閉トブル交ニルノ
 加ク分別スベキアリ又古ヨリ定テ書來ルアリシチツス
 清ル音ハ明ニ異ニシテ濁ル音甚紛易シ誤ヘカラス

ツ内外之別

明^アラカニ呼^ヨツハ毎^イ偽^ツ立^モ鯨^ス眠^リ睦^イ饑^フ日^ハ外^ツ之^ル類
 是^レヲ外^ホトス喉^ホヨリ舌^レ觸^タ口^ノ中^ニ止^トリ外^ヘ現^ル并^ル全^ク
 以^テ訥^ク因^テ結^ク句^ク發^ク句^ク却^ク屈^ク侏^ク法^ク華^ク經^ク之^ク類^ニ是^レ
 ヲ内^ウトス内^ニ含^ムツハ畧^シテ書^モノ吾^邦假^字文^書

ニ多^クシヒテヨテホクキヤウノ如キ也漢音ニハ都^ステツ
 ヲ韻^ヒニ呼^ヨモノ入^ル聲^ク

ムン開合之別

ムトシラ通^シ用^レレ少^キ別^{アリ}ムハ合^音ナガラ唇^ヲ
 敲^タ少^ク開^ク音^ハ辰^月ヲ合^セ鼻^ヨリ出^ル音^也故^ニ
 ムハンニ通^フト云^氏ハムニ通^ズ梅^馬次^埋木^ノ類
 ムト書^テント讀^氏シノ字^ヲ書^フナシ
 此^假字^頭ニ書^フナシ音^ノ下^ニアル安^寒山^丹南^ノ類^訓
 中^ニアル考^蜻又^ハウニ通^フニサ^ン柑^カ冠^カ冠^カ冠^カ冠^カ
 カ^カハ^シノ類^ノ伊^呂波^四十七^字片^假字^五十^文ニ^シノ
 字^ナキ^ハムニ通^フ故^ナレ^氏承^女曲^ヲ畫^セバ別^ナキ^ニ非^ズ

レハ後ニシテ字ヲ作タルモノ又生シムルノ如キハ元來ウニ
テムニアラス馬ウマハ元來ムニテシテ讀ヨミウニ非ス如斯モ
ノ多シ子細シバニスヘシ

訓之相通

ミハムノ跳トビニ通フ 神カン君キミ文フミ頓トシ南ナナ御オミ

カヲシテノ淚ナミダノ類トモニミムモノノ通ヒク

ヒハフニ通フ 撰エラヒ習ナラフ浮ウカヒ洗アラフ争アラフ笑ウケ

ワラフ貴タツノ類トモハヒフノホノ通ヒク

ミハムニ通フ 沈シヅム浮ウカム休ヤスミ汲クム込コ富トモ惠メ

メグミ美イツクシノ類トモニミムモノノ通ヒク

ノラムニ讀ヨミ煙ケアリ睡スル侍サツラヒ吊ヒラシ冠カザリノ類トモムルウノ通ヒク

凡トモ訓トモノ相通舉ツクス盡ツクスベカラスヘトメヒトニ其トモニ辰シ音オンニ

テ通トモヒラリルレト和ワ訓トモニ上ウヘニ呼ヨウモノナシアオハ和ワ訓トモノ

下シタニ呼ヨウズキトクハ牙カ音オンニテ青アヲキト云イハラ又マタアラレハ

齒キバ音オンニテ牙カニ輕カサク轉テジアライアラウト云イハトウハ喉ノド

音オンニテ牙カニ重オモシク轉テズ又和歌連ワカツラシ俳ハニ云イハニ世ヨノシノ字

人皆知ヒトル所トコロニ按オシズルニ和ワ訓トモスベテ此義理コトワザアリ尤モトノ如ク

五音ゴオンヲ列ツケシ文字モノヲ置オキテ訓トモ見ミレタトハ往オキノ字ジモカシ

ユコウト訓トモスレハ今イマテヨリ企オモテ往オキト欲ホシナレバ所謂ユル未來ミライノシ

ト云イハモノニ等ヒトシユクト訓トモスレバ現在イマ今イマ往オキ義コトユキト訓トモスレバ

過スギ去サカタル意コトユケト訓トモスレバ下シタ知チ又ハ願ネガフ意コトニモナル他ナ

五音ゴオンモ斯イニ訓トモスレバ意義コト比ヒ皆みな同トウジクアカサタナハマラワ

ヲコソトノホモヨロオヲ以テ評スルハ未來イキシチニヒマ
 井リイハ過去ウクスツヌフムユルウハ現在エケセテ子
 へメエレエハ下知ニナル五音縱横ノ妙用タリ

ア カ サ タ ナ ハ ニ ヤ ラ ワ
 イ キ シ チ ニ ア ヒ コ ク エ キ リ タ イ
 ヲ ケ ツ テ ノ ホ セ ヨ ロ オ
 貫ウ間ク越ス待ツ往又遊フ汲ム報ユ來ル賜ウ

乾坤器財生植氣形等ノ字ヲ以コレニ當田ヘカラス
 訓スル五音ノ韻ニ仍テ義ノ違フ其々比自同キラ示
 迄ナバ相應ノ山子ヲ填ル氏五音一々のサルモ強テ
 咎ヘカラス五音ノ動圖ニテ味ベシ

音訓國字格 坤卷終

范石湖 揚誠齋 陸放翁 三大家絶句 全三冊
 寬齋如亭 詩佛五山 今四家絶句 全三冊

三大家絶句箋解 全三冊
 温公 三家詩話 全一冊

廣三大家絶句 全一冊
 西湖竹枝 五山先生 全一冊

今體 宋詩選 五山先生校 全一冊
 陸放翁詩話 全一冊

歷代題画詩類抄 小本二冊
 五山堂詩話 全一冊

文政八年乙酉九月

江戸書林

玉山堂

山城屋佐兵衛

日本橋 通貳丁目

明治三年龍集六月初旬

英